

# サンケイ化学 農薬登録情報

## スタークル顆粒水溶剤

登録番号: 農林水産省登録 第20811号(登録会社: 三井化学アグロ(株))

有効成分: ジノテフラン...20.0%

毒性: 普通物

### 適用拡大登録取得のお知らせ

弊社取り扱い製品『スタークル顆粒水溶剤』が平成24年12月19日付けで下記のように適用拡大されました。

#### 【適用病害虫の範囲または使用方法の変更の内容】

- ・作物名「きゅうり」に適用病害虫名「ウリハムシ」を追加。
- ・作物名「ねぎ」の適用病害虫名「ネギコガ」を追加。
- ・作物名「ねぎ」の適用病害虫名「ネギハモグリバエ」を「ハモグリバエ類」に変更。
- ・作物名「ふき」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「2回以内」から「3回以内(粒剤は1回以内、水溶剤は2回以内)」に変更。
- ・作物名「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」「きく」及び「ばら」の適用病害虫名「コナジラミ類」の希釈倍数を「2000倍」から「2000～3000倍」に変更。
- ・作物名「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」「きく」及び「ガーベラ」の本剤の使用回数を「4回以内」から「5回以内」に変更。
- ・作物名「花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラを除く)」「きく」及び「ガーベラ」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「5回以内(定植後は4回以内)」から「5回以内(土壌混和は1回以内)」に変更。

#### 【適用病害虫の範囲および使用方法】

##### ●変更後: 変更作物のみ

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
きゅうり	コナジラミ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類						
	アザミウマ類	2000倍					
	ウリハムシ						
ねぎ	アザミウマ類	50倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30X60cm・使用土壌約1.5～4L)当たり0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	4回以内(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類						
	シロイチモジトウ						
	タネバエ						
	ネギコガ						
	アザミウマ類	2000倍					
ハモグリバエ類	400倍	0.4L/m <sup>2</sup>	生育期但し収穫14日前まで	1回	株元灌注		
ふき	コナジラミ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (粒剤は1回以内、水溶剤は2回以内)
花き類・観葉植物(ばら・きく・ガーベラを除く)	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a			散布	
	コナジラミ類	2000～3000倍					
	ハモグリバエ類	1000倍					
きく	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
	コナジラミ類	2000～3000倍					
	カメムシ類	2000倍					
	ハモグリバエ類	1000～2000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数			
ばら	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)			
	コナジラミ類	2000～3000倍								
	ハモグリハエ類	1000倍	1L/m <sup>2</sup>			灌注				
ガーベラ	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a						散布	
	コナジラミ類		1L/m <sup>2</sup>						灌注	
	ハモグリハエ類	1000倍								

<注意事項について>

使用上の注意事項については製品に貼付のラベルをご参照下さ



本社 技術普及部 TEL:099-268-7588  
 東京 技術普及部 TEL:03-3845-7951  
 深谷 技術普及部 TEL:048-551-2122